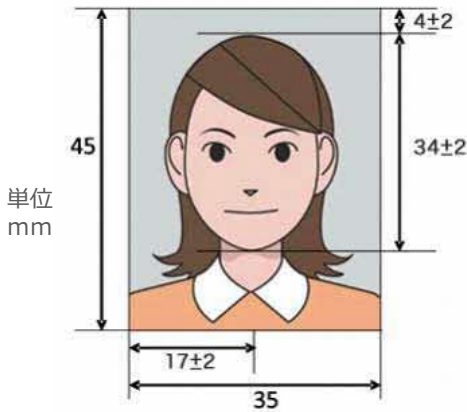




顔写真のチェックポイント



◆ 適切な写真の規格



- ▶ サイズ：縦4.5cm×横3.5cm
- ▶ 直近6カ月以内に撮影されたもので、正面・無帽・無背景のもの
- ▶ 申請者本人のみの平常時の写真であること
- ▶ 小さすぎず、頭の輪郭がすべて収まっているもの
- ▶ 鮮明に撮影され、顔や背景に影の無いもの
- ▶ 傷や汚れの無いもの
- ▶ サングラスなどで顔が隠れていないもの
- ▶ 白黒写真可
- ▶ マイナンバーカードには、縦2.75cm 横2.20cmに縮小して貼付されます。

宗教上又は医療上の理由により、顔の輪郭が分かる範囲で頭部を布などで覆う写真を使用する方や、乳幼児、障がいのある方又は寝たきりの方等、やむを得ない理由により適切な規格の写真を撮影できない場合は、申請書にその旨を記載することで、使用することができます。

◆ 不適切な写真の例

指定の寸法や規格を満たしていないものの例



顔の位置が片寄っている



顔が横向き



顔が左右に傾いている



椅子などの背景がある



背景に影がある



背景に柄がある



顔の周囲に余白がない

眼鏡やヘアバンドにより顔の一部が隠れているもの



眼鏡のフレームが目にかかっている



フレームが非常に太く目や顔を覆う面積が大きい



照明が眼鏡に反射している



幅の広いヘアバンド等により頭部が隠れている



サングラスや色付きレンズをかけている



前髪が長すぎて目元が見えない／顔の輪郭が隠れる



帽子によって頭部が隠れている



顔や頭の輪郭が隠れる装飾品等がある



顔の器官が隠れる装飾品等がある



頭髮のボリュームが大きく、顔の面積が小さいもの

人物を特定しにくいもの



瞳がフラッシュ等により赤く写っている



平常の顔貌と著しく異なる

デジタル写真の品質にみだれがあるもの



ノイズ(画像の乱れ)がある



ドット(網状の点)やインクのじみがある



ジャギー(階段状のギザギザ模様)がある



変形やマスキング(緑取り)などの画像処理を施している



顔に影がある



ピンボケや手振れにより不鮮明